

# BeeDep-MONGOL 2 Newsletter

No.1

February 2021

BeeDep-MONGOL 2



## プロジェクトのご紹介

JICAIFでは2015年より、モンゴルの養蜂振興を目指したプロジェクトを実施しています（JICA草の根技術協力事業）。2018年3月まで実施したフェーズ1（養蜂振興による所得向上プロジェクト）では、セレンゲ県の養蜂家を対象として、蜂群当たり採蜜量の向上、薬剤管理の導入、所得の向上に取り組みました。その結果、蜂群当たりの採蜜量も養蜂所得も倍増し、薬剤使用を記録した蜂蜜が半分以上を占めるようになりました。マニュアルも開発され、国際機関やNGOによる研修でも活用されています。

BeeDep-MONGOL 2は、これまでの活動のフェーズ2として、2019年3月から開始より、ダルハンオール県をモデル地域として養蜂振興の手引書の作成に取り組んでいます。

2020年3月からは、コロナ禍の下、遠隔での実施を余儀なくされていますが、これまでに次のような活動を行ってきました。

## 第2回アドバイザリー・グループ会合を実施しました

2021年1月18日に、プロジェクトのアドバイザリー・グループによる第2回会合をオンラインで実施しました。

アドバイザーグループは、カウンターパートであるモンゴル農牧省とともに運営しており、関係省庁や研究機関、NGOのメンバーで構成されています。

今回の会合では、プロジェクト側から2020年度の活動を報告しました。また、プロジェクトの目的と成果を示したPDM（Project Design Matrix）の一部変更を提案し、提案内容が承認されました。

- アドバイザリー・グループ第1回会合開催（2019年5月）
- 養蜂シーズンごとの飼育技術指導（ダルハンオール県、ヘンティ県、フブスグル県、ドルノド県での現場指導・セミナー開催）
- オンラインセミナーの配信（これまでに全Facebook上でオンラインセミナーを配信）
- ハチミツの品質管理・マーケティング指導
- 飼育・品質管理・養蜂経営に関するマニュアル（Version1）を作成
- 本邦研修（2020年2月にモンゴルの養蜂関係者6名を日本に招聘）

今後も引き続きオンラインセミナーを配信しつつ、COVID-19の状況を見ながら、現場での指導を行っていきます。

## メンバー紹介①



プロジェクト・マネジャー  
西山亜希代

養蜂家や獣医が蜂群を観察し、アイデアを出し、議論する姿に、私も勇気づけられます。モンゴルの草原に花を増やす小さなミツバチに注目してください。



養蜂技術専門家  
干場英弘

モンゴルと日本とでは、気候や蜜源植物に違いがありますが、養蜂の基本は変わりません。その事を念頭に、養蜂の基本をお伝えしています。基本を元にモンゴルの養蜂スタイルを発展させて欲しいと思います。

プロジェクトFacebook :

[www.facebook.com/BeeDep-MONGOL-2-107843977265085/?modal=admin\\_todo\\_tour](https://www.facebook.com/BeeDep-MONGOL-2-107843977265085/?modal=admin_todo_tour)

オンラインセミナー配信中！

